

「京都で人とつながる夢がひろがる」

京都市はたちニュース

令和4年京都市はたちを祝う記念式典が感染症対策を徹底のうえ、開催されました

多数の二十歳を迎える方が参加し、一生に一度の式典を開催しました

1月10日(月・祝)にみやこめっせ(京都市勧業館)及びびろームシアター京都で開催された「京都市はたちを祝う記念式典」。当日は晴天に恵まれ、4998名の方がマスク姿で参加され、厳粛で温かみのある式典となりました。



感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策として、会場の分散化、収容人数の抑制、LINEでの受付に加えて、みやこめっせの駐車場エリアからの入場ルートの設置、開式15分前までの入場者限定の早得LINE抽選会の実施等、昨年の状況を踏まえて開催方法を改善いたしました。また、(同時に)マスク着用の徹底、座席間隔の確保、サーモグラフィによる検温、密集防止のための待機中の間隔確保など、会場内外での感染症対策を徹底しました。併せて、感染が拡大する状況を踏まえ、式典前後の飲食の自粛等を参加者に呼びかけました。

優雅な音色と華麗な踊りで はたちを迎える方をお迎えしました。

式典のオープニングとして、市立芸大のエトワールカルテットによる弦楽四重奏、京小町踊り子隊の踊りや新成人の舞を披露いただきました。色鮮やかな衣装に身を包んだ京小町踊り子隊が躍った「京小町踊り子隊メドレー」で一気にお祝いの雰囲気会場に広がりました。また上七軒(京都五花街の一つ)で働く市出身の舞妓・市すずさんが白塗りに着物姿で登場。福の神が次々に登場する「七福神」と女心を表した「梅にも春」の2曲の舞を披露していただきました。続いて、京都市消防音楽隊の演奏による市歌・国歌を静聴し、令和4年の式典が開式しました。



新成人への 励ましと華包贈呈

稲田新吾京都市教育長からの新成人への励ましの後、吉田良比呂京都市副市長と澤村悦弘ユース21京都市理事長から、京都の若手華道家達が現代に復活させた江戸時代のいけばなの伝書に残る「華包(はなつつみ)」が新成人代表へ贈られました。



京都市会から はたちを迎えられる皆様へ

田中明秀京都市会議長からは「御自身の可能性を最後まで信じ、様々なことに果敢にチャレンジしていただくこと、そして、一度ぎりの人生、自分の力を信じ、一日一日を大切に、実りある人生にさせていただきたい」とお祝いの言葉が贈られました。



門川市長から はたちを迎えられる皆様へ

門川大作京都市長からは「人生に無駄なことなし」「コロナ禍をオール京都で乗り越え、命と健康・暮らしを守り抜く」「本市は財政危機を迎えているが、若い世代のために責任をもって仕事をする」とのお言葉をいただきました。



新成人代表による二十歳の誓い



原田 隆矢さん

私は、少し出しゃばりで目立ちたがり、内弁慶で人見知り、そんな二面性を持った人間です。今のうちに、色んなことを経験し、自分の世界を広げ、中身で勝負出来る人間になりたいです。人生で選択を迫られたとき、「自分の心に素直に生きる。自分に嘘はつかない」ということを二十歳の誓いにします。



田中 鈴音さん

6人兄弟の4番目で育ち、これまで数々の選択をしてきましたが、何一つ後悔していません。現在、京都市役所の建設局で働いています。仕事で辛いこともあります。私の一番やりたかった「人の役に立ち喜んでもらう」ということにピッタリと当てはまっています。今後も「京都の街づくり」に一生懸命関わっていきます。



市田 暉昂さん

小学生の頃からトランペットを吹いていましたが、高校の吹奏楽部で、バスクラリネットに配属されました。基礎から丁寧に練習し、日々、上達していくのを感じました。将来は公共交通機関の活性化を通して、街の発展に関わる仕事をしたいと思っています。そして、一つ一つの問題に真正面から丁寧に取り組み、自分自身の力で未来を切り拓ける大人になりたいです。



森田 咲季さん

小学5年生の頃、学校へ行けない時期がありました。周りの助けがあり克服しました。そして今、大学で意見を求められても言葉がでてこない自分に気づきました。このような自分を変えるためには、苦手な状況から逃げず、場に慣れることが重要です。そして、問題に直面した時には、人に頼るのではなく、まずは自分で考え、自分の言葉で意見を言える人になりたいです。



水沼 千紘さん

高校2年生の冬、駅で倒れている男の子を見かけました。迅速で、冷静沈着な処置を行う救急隊の姿はまさにヒーローでした。そのとき「救急救命士になりたい」と強く思いました。「命を守り、救うことで地元京都に地域貢献する」消防官になります。自分も夢を頂いたように、子ども達に夢を持つきっかけを与えられるヒーローになります。



芝本 登萌さん

自分の好きなことは、ものをクリエイティブすること。小学生からの夢である「女優」にも通じるところがあります。積極的に何でも挑戦する気持ちは私を強くし、そこで沢山の人のに出会うことができ、自分のレベルが上がっていると感じることが出来ます。自分の納得いく生き方をして周りにポジティブなパワーを与えられる人間になりたいです。

おめでとう・ありがとうの手紙

母から子へ

高校生の今だから留学したい
 大学に入ってからでも遅くはないと論ず私達にそう言い放って一人旅だった高校2年の夏
 現地の高校に忍者の格好で初登校して強烈な印象を与えてしまったゼロからの仲間づくり
 留学の記録には地元の人々が書道や浴衣や巻き寿司作り、スイカ割りなど日本の文化を楽しむ姿があった
 言葉の問題はあれどまずは自分を知って欲しい一緒に楽しい時間を過ごしたい、君はそんな気持ちで奮闘していたのかもしれないね
 もし君がまた挑戦を決意したその時は「がんばれ」と励ましてやれる母でありたいと思う

新成人心からおめでとう
 君の人生に幸多かれ

母より

田中希実選手
 お祝いメッセージ

今年度、東京2020オリンピック陸上女子1500mと5000mに出場し、1500mでは、見事8位入賞という快挙を成し遂げられました。田中希実選手（豊田自動織機TC所属）からお祝いメッセージをいただきました。



田中選手は、今大会で、『女子1500m日本人初出場・初入賞』『予選・準決勝での日本記録更新』『日本女子選手初の3分台』と多くの快挙を成し遂げ、日本中長距離界の新たな道を切り開かれました。

1/2 成人式の取組

小学4年生がこれまでの成長を振り返り、将来を考える「1/2成人式」。当日は小学校4年生の児童とその保護者たちが参加し、会場の受付で新成人の方に「おめでとうございます！」と元氣な掛け声をしてくれました。その後、新成人とともに式典にも参加し、これからの自分の将来に思いをはせていました。



思い出成人式

京都市はたちを祝う記念式典には、仕事や家庭の事情など様々な理由で20歳の時に式典に参加できなかった方で、改めて「大人のけじめ」として式典に参加したい方をご招待し、新成人の方と一緒に式典に臨んでいただく方が出席されました。

成年年齢引下げ後も
 20歳での式典を継続します！

令和4年4月の改正民法施行に伴い、成年年齢が18歳に引き下げられますが、京都市では、参加者が落ち着いて参加することができ、家族や旧友、地域社会との繋がりをしっかりと確認できるよう、成年年齢引下げ後も、20歳での式典開催を継続することとし、「はたちを祝う記念式典」と名称を変更しました。これからも、京都市全体で青年の成長の節目を祝ってまいります。



京都市では、社会全体で青年の門出を祝い励ます気運を高め、成人の日をきっかけに人と人、人と社会の絆が深まるよう、「はたちプロジェクト」を展開しています。



京都市は持続可能な開発目標 SDGs を支援しています。

発行：子ども若者はぐくみ局
 子ども若者未来部育成推進課
 京都市印刷番号 第035035号
 令和4年3月